

水疱症web講演会

謹啓

初夏の候、先生におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。さて、この度、下記の要領にて全国web講演会を開催させていただきます。

本web講演会が水疱症の診療のお役に立てば幸いと考えております。

ご多用中とは存じますが、ご参加くださいますようお願い申しあげます。

謹白

日 時：2017年 **8月29日**(火) 19:00~20:00

場 所：阪大病院10F 医局

座 長：順天堂大学大学院医学研究科 皮膚科学

教授 池田 志孝 先生

『ガイドラインに基づいた類天疱瘡の 治療戦略と最新トピックス』

演 者：北海道大学大学院医学研究院 皮膚科学教室

講師 氏家 英之 先生

質疑応答・ディスカッション (10分)

主催：日本製薬株式会社

氏家 英之 先生

北海道大学大学院医学研究院 皮膚科学教室 講師

ご略歴

平成14年3月 北海道大学医学部卒業
平成14年5月 北海道大学医学部附属病院 研修医
平成16年4月 北海道大学病院 皮膚科 医員
平成17年4月 独立行政法人国立病院機構北海道がんセンターレジデント
平成22年3月 北海道大学大学院医学研究科博士課程修了
平成22年4月 北海道大学病院 皮膚科 助教
平成24年9月 米国国立衛生研究所 (NIH) NIAID客員研究員
(平成25年4月～平成26年8月 日本学術振興会海外特別研究員)
平成26年9月 北海道大学病院 皮膚科 助教
平成28年9月 北海道大学病院 皮膚科 講師

ご講演内容

水疱性類天疱瘡、粘膜類天疱瘡、後天性表皮水疱症はいずれも表皮基底膜部タンパクに対する自己抗体によって生じる表皮下水疱症である。これらが一連の疾患群として厚生労働省指定難病に追加されたことを受け、診療ガイドラインが新たに作成された。このガイドラインでは、水疱性類天疱瘡、粘膜類天疱瘡、後天性表皮水疱症の治療アルゴリズムがそれぞれ設定され、治療選択肢が重症度別に示されている。本講演では、類天疱瘡診療ガイドラインについて概説し、それに基づく治療戦略について考察する。

近年、2型糖尿病治療薬であるDPP-4阻害薬内服に伴う水疱性類天疱瘡の報告が増加している。症例の集積と共に、その臨床的および免疫学的特徴が徐々に明らかになりつつある。本講演の後半では、DPP-4阻害薬関連水疱性類天疱瘡の最近の知見について紹介する。